2026年度 ＪＯＣジュニアオリンピックカップ
全日本ジュニア 関東地区予選 神奈川県 予選会 要項

１.開催日　令和８年５月17日（日） 午前10時10分開会
（受付・計量 ：9時00分から9時45分まで） ※男子・女子ともに仮計量は行わない。
２.会場：シンコースポーツ神奈川県立武道館（住所：横浜市港北区岸根町725　電話：045-491-4321）
３.主催：神奈川県柔道連盟
４.主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部
５.参加選手
（１）男子は神奈川県学生柔道連盟から４名と神奈川県高等学校体育連盟から４名の指定選手、計８名によるトーナメント試合とし、階級は次のとおりとする。
a. 60kg級(60kg 以下)　b. 66kg級(60kgを超えて66kg以下)　c. 73 kg級(66kgを超えて73kg以下)
d. 81kg級(73kgを超えて81kg以下)　e. 90kg級(81kgを超えて90kg以下)　f. 100kg級(90kgを超えて100kg以下)
g. 100kg超級(100kgを超える)
（２）女子はオープン参加によるトーナメント試合とし、階級は次のとおりとする。
a. 48kg級(48kg 以下)　b. 52kg級(48kgを超えて52kg以下)　c. 57kg級(52kgを超えて57kg以下)
d. 63kg級(57kgを超えて63kg以下)　e. 70kg級(63kgを超えて70kg以下)　f. 78kg級(70kgを超えて78kg以下)
g. 78kg超級(78kgを超える)
（３）参加選手は日本国籍を有する者とする。
（４）選手は、令和８年中に満15歳～20歳になる者とする。
（５）選手は、神奈川県に住居、在勤、在学の条件のうち、いずれかを満たし（財）全日本柔道連盟競技者登録をしている者とする。
（６）柔道衣にはゼッケン（所属名と苗字入り）をつけること。
（７）前年度全日本ジュニア入賞者（２・３位）は県予選を免除とする。
６.試合方法
（１）試合は国際柔道連盟試合審判規定で行う。
（２）男子・女子ともに各階級トーナメント方式とし、それぞれの階級で３位決定戦を行う。
（３）試合時間は男子・女子ともにすべて４分間とする。
７.表彰：各階級の優勝・準優勝・第３位（ベスト４）の選手に賞状を授与する。
８.申し込み
申込期限は令和８年４月20日（月）から４月27日（月）までとする。なお、申し込みは女子のみが行い、期限内に参加料の振り込みの完了と申込書が必着すること。男子は各団体(大学・高体連・実業団等)でとりまとめて申し込みを行う。
また男子の参加料振り込みについては各校・各所属が５月７日（木）まで完了させる。ただし高体連の指定選手の振り込みについては指定選手決定が５月 10 日（日）であるため男子の高体連指定選手の参加料の振り込み完了日は５月12日（火）とする。

（１）女子申込方法について
① 神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部ホームページから申込書（Excel ﾌｧｲﾙ）をダウンロードする。
② 必要事項を入力した後、事務局へ申込書（Excel ﾌｧｲﾙ）をメールにて添付・送信する。
③ 申込書（Excel ﾌｧｲﾙ）をプリントアウトし、事務局（県立鶴見総合高等学校）へ郵送する。
（２）申込先
郵送先
〒230-0031　横浜市鶴見区平安町2-28-8 県立鶴見総合高等学校内
神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部 事務局 栃本 章太 宛
申込書（Excel ﾌｧｲﾙ）メール送信アドレス
tochimoto-4nk@pen-kanagawa.ed.jp
（３）封筒には「県ジュニア申込書 在中」と朱書き（赤記入）する。

（４）所属長の認印のないものは無効とする。（注）認印＝校長印等 捺印
（５）参加料は、１名 ¥2,500 とし申込期日までに以下の預金口座（振込先）に振り込むこと。
（注）期日までに入金がなかった場合は出場を認めない。

預金口座（振込先）
① 銀行名・支店：横浜銀行 横浜駅前支店（店番号 383）
② 口 座 番 号：普通 6525376
③ 口　座　名：神奈川県高体連柔道専門部 会計 栃本章太

振り込みの際に振込依頼人には「所属名」を（個人名は不可）入力すること。

（注）振り込みにかかる手数料は各校・各所属で負担すること。
（注）所定の預金口座（振込先）以外の振り込みは認めない。
（注）高体連各種大会で使用している口座と別の口座を使用しているため口座番号を確認して振り込むこと。

９.その他
（１）脳しんとうの対応について、選手及び指導者は下記の事項を遵守すること。
①大会前１ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は専門医（脳神経外科）の診察を受け出場の許可を得ること。
②大会中、脳しんとうを受傷した者は継続して当該大会に出場することができない。なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
③当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。
（２）皮膚真菌症（トンズランス症候群）については、各所属団体の責任において必ず確認し、感染が判明した選手については、迅速に医療機関に於いて的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、本大会への出場ができない場合もある。
（３）男子・女子ともに各階級上位３名を本県代表として関東地区予選に推薦する。ただし、推薦人数は神奈川県予選免除者も含める。

－ 2026 年度 全日本ジュニア体重別選手権大会 神奈川県 予選会 －
－ 神奈川県高等学校体育連盟男子出場選手選考基準 －

１.全日本ジュニア選手権大会神奈川県予選会の試合方法について
（１）男子の階級は下記のとおり組み合わせる。

高校１位　VS　大学４位　／　高校２位　VS　大学３位
高校３位　VS　大学２位　／　高校４位　VS　大学１位

２.組み合わせについては５月１０日（日）の神奈川県高等学校体育連盟常任委員会（全国総合体育大会神奈川県予選会終了後）で選考決定する。

柔道衣コントロールについて

神奈川県柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールについては、「全日本柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールの運用について 2023 年 7 月 24 日」に準じる。詳細は下記のとおりである。

規定に満たない場合、試合する権利がなくなり、試合がまだ始まっていなかった場合には「不戦勝ち」または、試合がすでに始まっていた場合には「棄権勝ち」が相手に与えられる。

１．ID カードとゼッケン、柔道衣の色(紐)、帯の色が合っているかを確認する。
（注）帯は黒帯のみ(無段者の白帯を除く)とする。

２．「柔道衣の氏名等の表示」に適合しているか、指定の広告・ゼッケンが正しく縫い付けられているか、破れ・血痕がないか、おおむね乾燥し不快なにおいがしないかを確認する。

３．認証ラベルを確認する。

上衣・下穿き	「IJF ロゴ(赤)」又は「JU0000・JUB000 の赤文字ラベル」を使用可とする。
帯	「IJF ロゴ(赤・青)」又は「JU0000 の赤・黒のラベル」を使用可とする。

（注）認証ラベルの剥がれた柔道衣の着用は認めない。
（注）原則として、上衣・下穿きのメーカーは同一であること。

４．上衣の大きさ・帯の長さを確認する。
（１）測定器を用いて、胸骨の上部頂点から襟の交差部までの垂直 直線距離が 10cm 以下であるかを確認する。
（２）帯が腰骨の位置で正しくきつく締められた状態であるかを確認する。その後、測定器を用いて、上衣を前で重ねた際に２つの下襟の距離が水平に 25cm 以上であるかを確認する。
（３）測定器を用いて、帯が中央の結び目から端まで 20～30cm に収まっているかを確認する。
（４）袖の長さが腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、手首の骨(尺骨の頭)を含めて腕全体が覆われているかを確認する。覆われていない場合は、自分自身で柔道衣を伸ばし、一度だけ再測定ができる。
（５）腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、測定器全体がスムーズに袖の中に滑り入るかを確認する。

５． 上衣の前後が同等の長さでお尻を完璧に覆っており、各階級の規程に合っているかを目視にて確認する。

男女 73kg 級以下(-48・-52・-57・-63・-70・-60・-66・-73kg)
背中の帯から 20cm 以上であるかを確認する。

男女 73kg 級以上(-78・+78・-81・-90・-100・+100kg)
背中の帯から 25cm 以上であるかを確認する。

６．下穿きの大きさを確認する。
裾口からくるぶしの外側(足首)までの距離が 5cm またはそれ以下であるか、幅は膝の位置で 10～15cm に収まっているかを目視で確認する。満たないと判断した場合は、測定器を用いて確認する。

７．女子選手のＴシャツについては、次の通りとする。
（１）色は白(透けない)、半そで、丸首とする。
（２）製造業者マークは、最大 30 ㎠のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
（３）所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大 100 ㎠とする。
（４）いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

８．その他
（１）規程に満たない場合、短時間に着替えるよう命じなければならない。それでも満たない場合は出場を認めない。原則として、主催者は予備の柔道衣を準備しない。
（２）手足の爪は短く切ってあり、試合者の個人的衛生状態がよく保たれていること。
（３）長い髪は試合相手の迷惑にならないよう束ねてあること。
（４）マウスピースの着装については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出ることによって着装することができる。ただし、白もしくは透明なものに限る。
（５）下穿きの下に着けるスパッツ等の長さは、膝よりも短いことを原則とする。
（６）入れ墨については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出たうえで、シャツやテープ等で隠すこととする。
（７）監督(指導者)の服装については、原則として審判員に準じたものとする。

９．「柔道衣の氏名等の表示」（刺繍等）は全日本柔道連盟ホームページにて確認する。